

別記第1号様式（第3条関係）

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実施計画承認申請書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名

年度山口市資源循環型肉用牛経営育成事業を実施したいので、山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付要綱第3条に基づき、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の目的

2 事業の内容

事業の実施対象者		事業の種類	総事業費	負担区分	
住所	氏名 (年齢)			補助金	その他
	()		円	円	円
	()				
	()				
計					

3 予算額

(単位；円)

区 分	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補 助 金					
そ の 他					
計					

4 事業完了予定年月日

年 月 日

5 添付書類

- (1) 事業実施計画書（別添第1号の2様式）
- (2) 飼料作付けに係る証明；事業の実施対象者に係る産地づくり等営農計画書、水田を借用する者等（事業実施者以外の者が作付けした飼料作物を利用する者を含む。）にあつては、借地における飼料作付けに係る書類（飼料作物利用供給協定書、農作業受委託契約書）
- (3) 事業実施位置図、畜舎施設配置図
- (4) 見積書
- (5) 計画図面、カタログ等
- (6) 環境と調和のとれた農業生産活動規範点検シート
- (7) 営農集団等規約（農協については不要）

※(2)から(7)は写しとする。

(別添1号の2様式)

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実施計画書

年 月 日

実施対象者 住 所

氏 名

1 飼養頭数 (現状及び計画)

区 分	現 状	計 画					備 考
		初年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
育 成 雌 牛	頭	頭	頭	頭	頭	頭	
成 雌 牛							
子 牛							
肥 育 牛							
預 託 牛							
計							

- (注) 1 現状については、計画書作成時の頭数とし、次年度以降は年度末頭数とする。
ただし、預託牛については、年間の延頭数とする。
2 子牛は市場出荷時までとし、育成牛は16か月齢まで、繁殖供用雌牛は16か月齢以降のものとする。

2 耕地・飼料作付け、稲わら収集面積

区 分	所 有 地 (a)			借 地 (a)			備 考
	現 状	3年後	5年後	現 状	3年後	5年後	
水 田							
普 通 畑							
飼 料 畑							
稲 わ ら							
そ の 他							
計							

- (注) 1 飼料作付け面積のうち借地の場合は、備考欄に借入れ先の氏名を記入する。
2 放牧を行う場合はその他に記入し、備考欄に放牧と記入すること。

3 堆肥散布 (現状、3年後及び5年後の計画)

(t)

処 理 方 法	現 状	3年後	5年後
ふん尿を自家外で処理			
ふん尿を自家で処理し、所有地で利用			
ふん尿を自家で処理し、借地で利用			
ふん尿を自家で処理し、所有地・借地以外で利用			
ふん尿を自家で処理し、譲渡・販売で利用			
その他 ()			
計			

- (注) 堆肥散布 (トン数) は、現状と3年後、5年後の計画の数量を記入する。

4 畜舎及び管理用機械器具等の所有状況

(1) 畜舎・飼料貯蔵施設・堆肥舎及び機械器具

区 分	数 量	建築・設置年月	購 入 価 格	備 考
畜 舎	m ²	年 月	円	
飼 料 貯 蔵 庫				
堆 肥 舎				
そ の 他				

(注) 建物が複数ある場合は、区分を分けてそれぞれ記入する。

(2) 機械器具

機 械 器 具 名	数 量	購 入 年 月	購 入 価 格	備 考
		年 月	円	

(注) 性能・機能について備考欄に記入する。

5 施設及び管理機械整備計画

区 分	数 量	単 価	金 額	備 考
畜 舎	m ²	円	円	新・増・改築の別
堆 肥 舎	m ²			
粗飼料貯蔵施設等	m ²			
飼 養 管 理 機 械				
計				

別記第2号様式（第6条関係）

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付申請書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名
担当者名
電話番号

年度において、下記のとおり山口市資源循環型肉用牛経営育成事業を実施したいので、山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付要綱第6条の規定により、補助金 円を交付されるよう関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の目的

2 事業の内容

事業の実施対象者		事業の種類	総事業費	負担区分	
住所	氏名 (年齢)			補助金	その他
	()		円	円	円
	()				
	()				
計					

3 予算額

(単位；円)

区 分	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補 助 金					
そ の 他					
計					

4 事業完了予定年月日

年 月 日

別記第3号様式（第9条関係）

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実施計画変更承認申請書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名
担当者名
電話番号

年 月 日付け 第 号により、補助金の交付の決定の通知がありました。年度山口市資源循環型肉用牛経営育成事業の実施について、下記の理由により変更の承認を受けたいので、山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付要綱第9条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 変更の理由

2 変更の内容

（注）上記関係書類等は、補助金の交付の決定が通知された事業の内容及び経費の配分を容易に比較対照できるよう、変更に係る部分についてのみ変更前を（ ）書きで上段に記入すること。

別記第4号様式（第10条関係）

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実績報告書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名

年 月 日付け 第 号により、補助金の交付の決定の通知がありました。年度山口市資源循環型肉用牛経営育成事業については、下記のとおり実施したので、山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付要綱第10条の規定により、その実績を報告します。

記

1 事業の目的

2 事業の内容

事業の実施対象者		事業の種類	総事業費	負担区分	
住所	氏名 (年齢)			補助金	その他
	()		円	円	円
	()				
	()				
計					

3 予算額

(単位；円)

区 分	本 年 度 精 算 額	本 年 度 予 算 額	比 較 増 減		備 考
			増	減	
補 助 金					
そ の 他					
計					

4 事業完了年月日

年 月 日

5 添付書類

- (1) 事業実績報告書 (別添第4号の2様式)
- (2) 事業検収書
- (3) 事業実施位置図、畜舎施設配置図
- (4) 計画に係る書類
- (5) 領収書等
- (6) 完成図面
- (7) 完成写真

※(2)から(7)は写しとする。

(別添第4号の2様式)

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実績報告書

年 月 日

実施対象者 住 所

氏 名

1 飼養頭数

区 分	飼養頭数 (頭)	備 考
育 成 雌 牛		
成 雌 牛		
子 牛		
肥 育 牛		
預 託 牛		
計		

- (注) 1 飼養頭数は現状の頭数とする。ただし、預託牛については、年間の延頭数とする。
2 子牛は市場出荷時までとし、育成牛は16か月齢まで、繁殖供用雌牛は16か月齢以降のものとする。

2 耕地・飼料作付け、稲わら収集面積

区 分	所有地 (a)	借 地 (a)	飼料作付 面積計 (a)	備 考
水 田				
普 通 畑				
飼 料 畑				
稲 わ ら				
そ の 他				
計				

- (注) 1 飼料作付け面積のうち借地の場合は、備考欄に借入れ先の氏名を記入する。
2 放牧を行う場合はその他に記入し、備考欄に放牧と記入する。

3 堆肥散布

処 理 方 法	数 量 (t)
ふん尿を自家外で処理	
ふん尿を自家で処理し、所有地で利用	
ふん尿を自家で処理し、借地で利用	
ふん尿を自家で処理し、所有地・借地以外で利用	
ふん尿を自家で処理し、譲渡・販売で利用	
その他 ()	
計	

4 経費

区 分	数 量	単 価	金 額	備 考
畜舎の新增改築	m ²	円	円	
飼養管理機械 (機械名)		円	円	
粗飼料貯蔵施設		円	円	
計				

別記第5号様式（第12条関係）

年度山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付請求書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名
担当者名
電話番号

年 月 日付け 第 号で確定通知のありましたこの補助金について、
下記のとおり交付されるよう請求します。

記

1 請求金額

補助対象事業名	総事業費	補助金請求額
	円	円

2 振込先口座

金融機関	銀行・信用金庫・労働金庫・ 農協・信用組合								
	支店・店・支所・出張所								
預金種別	普通・当座	口座 番号							
(フリガナ) 口座名義									

別記第6号様式（第15条関係）

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実施状況報告書

第 号
年 月 日

山口市長 様

所在地
事業主体名
代表者名

年度山口市資源循環型肉用牛経営育成事業について、事業完了後、下記のとおり実施したので、山口市資源循環型肉用牛経営育成事業補助金交付要綱第15条の規定により、その実施状況を報告します。

記

1 事業総括

事業の種類	総事業費	補助金交付額	事業完了日	備考
	円	円		
計				

2 添付資料

事業実施状況報告書（別添第6号の2様式）

(別添第6号の2様式)

山口市資源循環型肉用牛経営育成事業実施状況報告書

年 月 日

実施対象者 住 所

氏 名

1 飼養頭数

区 分	飼 養 頭 数 (頭)			備 考
	実施年	3年目	5年目	
育 成 雌 牛				
成 雌 牛				
子 牛				
肥 育 牛				
預 託 牛				
計				

- (注) 1 3年目の報告では5年目の計画数も記入すること。
2 子牛は市場出荷時までとし、育成牛は16か月齢まで、繁殖供用雌牛は16か月齢以降のものとする。
3 預託牛については、年間の延頭数とする。
4 飼養頭数が計画頭数を満たしていない場合には、備考欄にその理由を記入すること。

2 耕地別飼料作付け、稲わら収集面積

区 分	所 有 地 (a)			借 地 (a)			備 考
	実施年	3年目	5年目	実施年	3年目	5年目	
水 田							
普 通 畑							
飼 料 畑							
稲 わ ら							
そ の 他							
計							

- (注) 1 3年目の報告では5年目の計画数も記入すること。
2 飼料作付け面積のうち借地の場合は、備考欄に借入れ先の氏名を記入する。
3 放牧を行う場合はその他に記入し、備考欄に放牧と記入すること。
4 事業要件を満たしていない場合には、備考欄にその理由を記入すること。

3 堆肥散布

(t)

処 理 方 法	実施年	3年目	5年目
ふん尿を自家外で処理			
ふん尿を自家で処理し、所有地で利用			
ふん尿を自家で処理し、借地で利用			
ふん尿を自家で処理し、所有地・借地以外で利用			
ふん尿を自家で処理し、譲渡・販売で利用			
その他 ()			
計			

- (注) 3年目の報告では、5年目の計画数も記入すること。